

## 平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会報告書

市 町 村 名 大阪狭山市

実践研究校名 大阪狭山市立南中学校

【公開授業】公開日：平成25年 9月10日（火）

(教科書・単元名) TOTAL ENGLISH3 「Shopping」	(本時の指導の目標) ・積極的に英語でやりとりし、グループで協力して、買い物の表現や買うものを決める。 ・買い物の雰囲気意識して、英語で会話表現を行う。
-------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

(本時の授業において工夫した点)

- ・生徒たちは実生活で英語を使って買い物する場面は多くはないので、高校の修学旅行で海外に行く学校が多くなっていることを伝え、「アメリカでの修学旅行中に買いものをする」という場面を設定した。
- ・アクティビティで必然的に英語を使う状況を作った。
- ・表現の幅が広がるように、教科書以外の表現を使う場面を作ったり、教科書範囲にとられない、実際に使用する様々な表現方法を使いながらすすめた。

(授業を終えた教員の感想)

- ・活用の時間だったが、生徒たちが思っていたよりも聞き取りや会話がスムーズにできていた。また、複雑なアクティビティを生徒が理解できるか心配だったが、楽しんで取り組むことができていた。
- ・もう少し、Speakingの量を増やせばよかったと思う。

【研究協議会】

(テーマ) 指導方法の工夫	(指導・助言者) 大阪狭山市教育委員会学校教育グループ 尾島 肇
------------------	-------------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・活動の場面設定が工夫されており、生徒が考え、それを表現する活動につなげることができていた。
- ・生徒が教科書を見ながら会話している場面があったので、目を合わせて会話することができるよう、指導方法を工夫する必要がある。
- ・生徒が積極的に取り組めるようアクティビティが工夫されており、参考になった。

(まとめ)

1. 場面設定を工夫することで、英語活動が実践する力につながる。
2. 全員参加の授業で、相手意識を個々の生徒に持たせることが大切である。
3. 考えさせる授業、生徒の興味をひく工夫で生徒が授業に積極的に参加する。